

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 救命救助資機材整備事業
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	3	地域医療の充実
小分類	2	救急医療体制の整備
主要な施策	2	救急救命体制の整備
事務事業番号	007	事務事業コード 12322007 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	救命救助資機材整備事業（地域活性化・経済危機対策臨時交付金）
------	------	------------	--------------------------------

部 名	消防署	グループ名	警防救急 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください） 救命救助資機材
手 段 （ 事 業 の 内 容 ・ 活 動 ）	（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください） 『一人でも多くの救える命を救う』ため、救急・救助活動の資器材を整備し消防活動体制の一層の充実・強化を図る。 1、救急資器材 毛布 A E D バッテリー 救急用蘇生人形 2、救助資器材 レインウェア スタティックロープ 保安帽 ガス検知器 G P S トランシーバー 登山靴 水難資機材消耗品
目 指 す 姿 （ 成 果 ）	（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください） 地域住民の防災意識の向上と救急・救助活動の効率的な推進及び消防力の充実強化を目指す。
根 拠 法 令 等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	救命救助資機材	式	目標値	14				
			実績値	14				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分				単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	地域活性化・経済危機対策臨時交付金	千円	4,869					0
	道支出金	名称		千円						0
	地方債	名称		千円						0
	その他	名称		千円						0
	一般財源	名称		千円						0
合 計					4,869	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費				職 員	千円	57	0			
				嘱 託 員	千円	0	0			
				臨時職員	千円	0	0			
				合 計		57	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後もしが事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？
市民の生命、身体を保護するうえで救急・救助活 動の資器材を整備充実強化することは、市町村 の責務であり事業の推進は消防の使命でもあ る。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？
救命講習等の普及啓発や救助業務等の安全管理 に効率的にしようすることができた。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させるこ とができない理 由は何ですか？
資器材を有効利用することが成果を向上させる こととなります。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？
資器材についてはコスト等について十分検討 し、必要最小限にとどめているため。			

担当グループによる評価

終了	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	購入整備を完了したため。
----	----------------------------------	--------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）